

## 「叙勲受賞にあたり」

新井 俊吉

ますますご滑祥のこととお慶び申し上げます。

さて、私こと平成 27 年秋の叙勲において、埼玉県診療放射線技師会のご推薦を受けはからずも瑞宝章の榮に浴しました。

これもひとえに、長年にわたり歴代の会長さまをはじめ、多くの先輩、また同僚の皆さまのご指導、ご高配の賜物であり、深く感謝申し上げますと共に、厚くお礼申し上げます。

検診車での仕事は、狭い場所のため白衣は不都合でした「洋画で、ベンケーシー外科医の物語」ケイシー服を着ていたら院長に叱られたことや、胃の勉強会で写真を見て診断していたら、講師の先生に注意され、こんな私に、このような秋の叙勲での受章は感無量です。

つい最近、天野厚先生の「一途一心、命をつなぐ」「熱く生きる」の本を読み感動し、あらためて私の約 50 年にわたる診療放射線技師として生きた人生に思いを巡らせました。

今回の受賞は、私にとって生涯最高の思い出になると思います。皆さま方の長年にわたるご指導、ご支援の賜物と深く感謝申し上げた一日でございました。

今後は一層粉励し、いささかなりともご芳情に報いたいと存じますので、何卒従前の厚絁ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

末筆ながら、(公社)埼玉県診療放射線技師会のますますの発展と、会員の皆さま方のご多幸とご健勝を祈念申し上げ、謹んでお礼のあいさつとさせていただきます。

新井 俊吉 昭和 19 年 7 月 24 日生 (71 歳)

(職歴)

昭和 42 年 3 月 21 日～昭和 63 年 4 月 30 日

社会保険大宮総合病院 (現 JCHO さいたま北部医療センター)

昭和 63 年 5 月 1 日～平成 18 年 3 月 31 日

大宮市立市民医院、大宮市心身障害総合センターひまわり学園

(団体関係歴)

昭和 60 年 4 月 1 日～平成 5 年 3 月 31 日

社団法人埼玉県診療放射線技師会理事

平成 5 年 4 月 1 日～平成 7 年 3 月 31 日

社団法人埼玉県診療放射線技師会常任理事

(主な表彰歴)

平成 3 年 (社) 埼玉県放射線技師会役員歴 5 年

平成 5 年 (社) 日本放射線技師会永年勤続 25 年表彰

平成 7 年 (社) 埼玉県放射線技師会 20 年公衆生成功労賞

平成 8 年 (社) 埼玉県放射線技師会永年勤続 30 年表彰

平成 18 年 公衆衛生事業功労知事表彰

平成 27 年秋 叙勲 瑞宝双光章受賞



本会、佐々木 正夫会員が平成 28 年 4 月 29 日に瑞宝双光章を受賞されました。真におめでとうございます。

## 佐々木 正夫 (67 歳)

(学 歴 等)

昭和 45 年 9 月 13 日 城西レントゲン専門学校卒業 (現 城西放射線技術専門学校)

(職 歴)

大宮双愛病院 放射線科技師長

(団 体 関 係 歴)

社団法人埼玉県放射線技師会 常任理事 (4 年)

社団法人埼玉県放射線技師会 理事 (6 年)

(賞 罰 関 係 歴)

平成 6 年 4 月 1 日 (社) 埼玉県放射線技師会会長表彰

平成 14 年 4 月 1 日 (社) 日本放射線技師会永年勤続表彰 30 年

平成 19 年 11 月 17 日 埼玉県知事表彰 (公衆衛生功労)

## 「県立高校放射線特別授業について」

公益社団法人埼玉県診療放射線技師会 常務理事  
上尾中央総合病院 佐々木 健

平成26年度より、新たに県立高校へ放射線に関する特別授業を事業展開することが決まり、第1回目として、平成26年5月28日に寄居城北高等学校で芦葉理事と共に「放射線について考えよう」「放射線について知ろう」というタイトルで授業を行った。生徒の多くは、放射線検査を受けたことがなく放射線検査をイメージしづらかったことが予想されたが教員からの反応は良く、有意義な時間であった。

現在、地域住民や当施設に新入職した研修医、看護師、臨床工学技士、診療放射線技師へそれぞれ放射線被ばくや放射線検査の講義を行っているが、特別授業で行う内容は地域住民と看護師のちょうど中間くらいの難易度が喜ばれるのではないかと、過去3回の授業を通じて感じている。

講義による学習は5%程度しか定着しないことは有名であるが《Dale, Edgar. (1946) The "Cone of Experience", Audio-Visual Methods in Teaching. NY: Dryden Press》、自身が体験したことがなく、イメージもしづらく、難しい話を受動的となると、学習定着率はさらに下回ることが予想される。地域住民は自身の今後の健康のためや報道の真偽、現状を知りたいという好奇心を持っており、医療職もこれからの仕事に関わることなので理解しようという意欲が伝わるため、講義の中でちょっとした豆知識などが喜ばれるが、高校生に対しては、まず興味を引くことが必要であり、実際にフィルムや造影剤、発泡剤、線量計などを手で触れ、体験する時間をつくることで、興味を引くだけでなく、学習定着率も上昇する。また一方的に話をするだけでなく、Q&Aを交えたり、笑いの要素を盛り込んだりといった工夫も必要である。

私たち診療放射線技師は、ネガティブイメージ

を持ちやすい『放射線』を扱っているからか、知ってほしい、理解してほしい、不安な気持ちを取り除きたいという欲求が強い方が多いと勝手に想像している。もちろんこれらは悪いことではなく、職業倫理上大変重要なことであるが、本事業においては足枷になるのではないかと考えている。

放射線特別授業は、未来ある高校生たちに正しい知識を持っていただき、あわよくば診療放射線技師になりたいという意欲を掻き立てるものであることが望ましい。従って、笑いあり涙あり？の印象に残る授業を展開していきたい。

特別授業の講師になるには、本会が主催する放射線特別授業准講師養成講習会を受け、准講師として授業を行い、委員会で認められたものが正講師として登録される。

今年度の放射線特別授業准講師養成講習会の開催は未定であるが、より多く皆さまからの参加とご協力をいただければ幸いである。

## 「放射線特別授業を経験して」

さいたま赤十字病院  
大河原 侑司

今年の3月18日、私は埼玉県立熊谷女子高等学校で、富田副会長とともに放射線特別授業の講師を担当させていただきました。簡単ではございますが、放射線特別授業の経験をご紹介します。ただこれだけでいいと思います。

私がこの活動を知ったのは、埼玉県内のさいたま赤十字病院の放射線科で行われている合同勉強会でした。ここでは、埼玉県診療放射線技師会の公益事業として放射線特別授業が行われていることや、授業内容、実際の経験談などを聞くことができました。教師になりたいと思っていた時期もあってか、私にとってはとても興味深いものでした。早速、私も講師をやってみたくて立候補をし、現在に至ります。福島原子力発電所の事故はまだ記憶に新しいところです。それ以来、放射線という言葉が耳にする機会がとて増えました。それらの情報の多くは正しい内容ですが、一方で、「放射線は怖い」「放射線は健康を害する」という悪いイメージを植え付けさせるような情報も多くあったのも事実です。それらの情報に囲まれていたら、そう思うのは必然の流れであると思います。事実、私が担当した生徒たちももちろんでした。

授業の準備に当たり一番苦労したことは、短い時間でどのようにしたら分かりやすく、簡単に伝えることができるか、ということでした。放射線を専門に学ぶ大学生のころの私でさえ理解に苦しみました。そこで高校生や一般の方に「放射線とは何か」を理解してもらうためには、導入部分でいかに放射線を身近に感じてもらうか、そして、例えなどを用いてイメージを思い浮かべやすくする工夫が大切であると考えました。その中で、私自身も再度放射線について学ぶことができ、理解

を深めることができました。そして、準備を進めていくうちに診療放射線技師として、自分自身が放射線について理解し、正しく伝えることはとても重要なスキルであり、強みにできると考えられるようになりました。授業を終えた現在では臨床現場において生かすことができます。

実際の授業では、放射線と正しく向き合うために、「正しい知識を身に付けて、きちんとした判断をすることが大切である」ということをテーマに行いました。授業前後に放射線に対するイメージや理解度、感想などのアンケートを取るのですが、それを見ると、まだ放射線に対する恐怖心がぬぐえ切れない学生も中には見受けられました。しかし、多くの学生はイメージ・理解度ともに向上してくれていました。また嬉しいことに診療放射線技師という職業に興味をもってくれる学生もおり、授業をやって良かったと素直に感じることもできました。

まだまだ沢山の方が放射線について誤解し、恐怖心を抱いていると思います。私たち診療放射線技師は、検査やモダリティーに目が行きがちですが、その前に放射線についてのプロフェッショナルでなければならないということを今回の経験で強く感じました。技師歴5年とまだまだ未熟な私ですが、放射線についての授業をするという、とても貴重な経験ができました。今後もこの活動を続けていきたいと思っています。そして皆さんもぜひ講師に立候補してみたいはいかがでしょうか。

## 診療放射線技師のためのフレッシューズセミナー —平成28年度（第18回）SARTセミナー—

総務常務理事  
平野 雅弥

平成28年5月29日（日）、さいたま赤十字病院で、公益社団法人日本診療放射線技師会、公益社団法人埼玉県診療放射線技師会合同主催のフレッシューズセミナー（SARTセミナー）を開催致しました。受講者は過去最高の65人で県外からの参加もありました。

本セミナーは技師会活動のアピールと新人教育を目的としたセミナーで、未入会者や就職して間もない方を対象としています。そのため講習内容としては社会人としての一般的マナーから、実際に診療放射線技師として働くための検査業務知識まで行い、今回からMRIの内容も含めました。

このセミナーの受講生が、今後さまざまな場面で活躍してくれることを期待します。

プログラム内容は以下の通りです。

1. 会長あいさつ・技師会について
2. 社会人としてのエチケット・マナー講座
3. 患者さんに優しい診療放射線技師
4. 医療安全講座・感染対策講座
5. 実際の検査について
  - ・一般撮影
  - ・MRI
  - ・CT・肺
  - ・消化器
6. 気管支解剖講座

- 田中 宏（埼玉県病院局）  
 中根 淳（埼玉医科大学総合医療センター）  
 大河原 侑司（さいたま赤十字病院）  
 佐々木 健（上尾中央総合病院）
- 平野 雅弥（埼玉医科大学病院）  
 明田川 尚宏（埼玉医科大学病院）  
 城處 洋輔（済生会川口総合病院）  
 今出 克利（さいたま市民医療センター）  
 富田 博信（済生会川口総合病院）



## フレッシューズセミナーを通して

埼玉県済生会川口総合病院 放射線技術科 井上 友貴



フレッシューズセミナーは、社会人としての心構えや医療安全、実際の検査についてと、多岐にわたる内容で非常に中身の濃いものでした。これから業務を覚えていくに当たり、参考になるものばかりでした。

エチケット・マナー講座では、社会人に必要とされるエチケットやマナーについて、分からない点を確認することができました。これを機に、マナーや礼儀作法についての本を読むなどして知識を深めていきたいと思います。接遇講習では、言葉遣いについて再度考えることができました。患者さんに気持ちよく検査を受けていただくためにも、このことを強く意識しながら業務に携わっていきたいと思います。

医療安全講座では、手指衛生をはじめとする感染対策の方法について改めて学ぶことができました。感染に対する意識を常に持ち、感染症から患者さんや自分自身を守ることを忘れぬようにしていきます。またMRI装置に近づく際の注意点についてもあらためて認識することができ、金属類を絶対に持ち込まない・持ち込ませないよう、自分がすべきことをしっかりまとめようと思います。

実際の検査に関する講座では、恥ずかしながら知らないことが多々ありました。特に、症例に関する内容は知らないことばかりだったため、解剖を含めて今後しっかりと勉強していきます。

このたびは、このような貴重な機会を設けていただき、関係者の皆さまに心よりお礼申し上げます。今後とも積極的に勉強会に参加し、患者さんに信頼される診療放射線技師になれるよう日々努力していく所存です。

## 診療放射線技師のためのフレッシューズセミナーに参加して

深谷赤十字病院 放射線診断科 浅見 有希



平成 28 年 5 月 29 日に、さいたま赤十字病院で行われたフレッシューズセミナーに参加させていただきました。埼玉県内の新人技師が集い、さまざまな講師の方から講義を受けました。会長のあいさつから始まり、エチケット・マナー、接遇、医療安全・感染対策、実際の検査（一般・CT・MRI・消化器）、気管支解剖などについての講義をしていただき、今まで知らなかったことが分かったり、これからの仕事に対する意識が向上したりして非常に有意義でした。

まず会長あいさつでは、日本診療放射線技師会の説明、東日本大震災の時に診療放射線技師としてできたこと・求められたことなどを聞きました。またこのような他病院の新人が集う機会はなかなかないということで、他の病院の知らない人とペアを組み、一分間の自己紹介タイムが設けられました。緊張しましたが、現在どの部署にいて何をしているなど、他の病院の話はとても興味深かったです。自分の病院より早いペースで部署を回っている同期の話聞き、自分も頑張らなくては、と思い良い刺激になりました。

社会人としてのエチケット・マナー講座では、電話、出先、Eメールの対応をクイズ形式で学びました。接遇に関しては、ディズニートキャストとして働いていた経験のある技師の方にお話をいただきました。元キャストの方ということで、根本にあるおもてなしの精神が強く、それに比べて自分の対応はどうか、と見直し考える契機となりました。特に印象に残っているのは、対応次第で新人でもベテラン技師より、患者さんにとって好印象を与えることができる、ということです。技師が実力者揃いで患者さんへの対応が悪い病院と、実力は並みだが対応が良い病院、どちらが良いか考え挙手させられました。多くの方が後者を選び、対応次第で新人技師でもベテラン技師に追いつくチャンスがあることが分かりました。撮影することで一杯になりがちですが、自分も落ち着いて良い接遇ができるよう頑張ろうと思いました。

医療安全講座、感染対策講座では、感染原因の種類やマスク・ビニールエプロンの正しい付け方、手洗方法などが分かりました。また一般撮影、CT、MRI、胃透視など実際の検査について、撮影の際に気を付けなければいけない点、所見、知っておくと役立つ豆知識などを聞きました。気管支解剖講座では、気管支の構造を、イラストの色を塗ったり、気管支体操をしたりすることで、分かりやすく解説していただきました。CTやMRIなどの撮影で断層面を見た際に、ここは何番の気管支だ、とイメージできるようになったので良かったです。

今回セミナーに参加して、多くの新しい知識を吸収することができ、また新人同士の交流もできてとても有意義でした。これからもこのような会での交流を大切に、勉強会に積極的に参加し、日々の業務に還元できるよう努めたいと思います。

## 診療放射線技師のためのフレッシューズセミナーに参加して

深谷赤十字病院 放射線診断科 長沼 紗由美



平成 28 年 5 月 29 日さいたま赤十字病院にて行われた、診療放射線技師のためのフレッシューズセミナーに参加させていただきました。

セミナーの始めに、埼玉県診療放射線技師会の会長さんから東日本大震災時の自身の体験についての話聞くことができました。地震が発生した時に、会長さんは患者さんの所へすぐ駆けつけ、患者さんの身を守ることを第一に考えたと聞きました。診療放射線技師はどんな状況においても患者さんのために冷静に臨機応変に行動できることが大切であると考えさせられました。

次に、他の病院の方々と自己紹介や意見交換する機会がありました。他の病院の技師さんと交流することで、病院ごとの特色を知ることや担当しているモダリティーのことなど、さまざまなことについて情報交換することができました。自分もさらに日々の仕事を頑張っていこうと意欲が湧いてきました。

社会人としてのエチケット・マナー講座では、正しいエチケットやマナーを知り、実践することでどのような人に対しても快く話や対応ができるようになると知りました。患者さんの接遇の講座では身だしなみを整えることや自然な笑顔や一期一会を心掛けるなど、基本的なことが接遇において大切であるとあらためて考えさせられました。また医療安全講座、感染対策講座では、患者さんに安全な医療を行うためにも、自分の身を守りつつ患者さんの回復に貢献するためにも、医療安全や感染対策の知識や実際の注意点を知ることができ、学んだことを心掛けて仕事を行っていきたいと思いました。

各モダリティーの講座では、基本知識や撮影ポイントを学ぶことができました。検査するために必要な知識や知っておくべき要素を知ることができました。今まで大学で学んだ知識では実際に機器を操作することや位置を合わせていくことをあまり意識していなかったと気づきました。また機器を理解し、患者さんに対してより良い撮影を行うために必要な知識が不足していると考えさせられました。実際に検査を行うことを意識して検査法や知識を覚えていきたいと思いました。

気管支の解剖の講座では、さまざまな角度や視点から気管支を見ることや部位ごとの関連性を結びつけて覚えることや体操で気管支の分岐を学びました。複雑に見えた気管支分岐が分かりやすく学ぶことができ、理解するきっかけになって良かったです。

このセミナーに参加して、新しいことや今まで上手にできなかった点に関しての要点や改善法を学ぶことができたので、実際の仕事で行う上で、安全でより良い撮影や接遇ができるようにしていきたいと思いました。またさまざまな方々と交流することで自分が知らなかったことやさまざまな視点から考えるきっかけとなりました。撮影技術を向上するためにも、患者さん安全で快く検査が受けられるようにするためにも、日々の業務を大切に、学ぶ姿勢を心掛けることでさらに自分自身を成長させていきたいです。

## 診療放射線技師のためのフレッシューズセミナーを通して学んだこと

さいたま市民医療センター 放射線技術科 大木 静香



平成 28 年 5 月 29 日に、さいたま赤十字病院で行われた診療放射線技師のためのフレッシューズセミナーに参加させていただきました。診療放射線技師になり働き始めてから初めての病院外でのセミナーでした。大学で共に学んだ仲間や他の病院の新人技師の方々との交流もあり、短い時間でしたがとても有意義な時間を過ごすことができました。

午前のプログラム内容は、はじめに会長あいさつ・技師会についての説明があり、他の病院の方々と自己紹介から病院の紹介や業務の進行具合までお話することができ、今後の目標を持つことができました。

社会人としてのマナーについては、学生生活では学ぶことのない社会人としてのマナーをいろいろなシチュエーションを交えながらの講義でした。電話対応では正しい敬語の使い方を学び、言葉遣いを見直す良い機会となりました。患者さんへの対応・感染対策の講義では、患者さんは制服を着たら新人もベテランの技師も同じ医療従事者であり信頼をおいて医療を受けに来ていることや、検査室内においても安全に検査を行う上で気を付けるポイントや、検査が終わるごとに使用した器具やタオルを元の状態にすることなど、患者さんの目線になって考えることができました。感染対策では、感染の経路を断つことで感染を広めないこと、基本となる手洗いの仕方を講義していただきました。

午後の部では、一般撮影・CT・MRI・消化器の各モダリティについて大学生活で学んだことの復習や、これから臨床で理解しておかなければならない知識を講義していただきました。どの検査においてもまずは解剖を理解しておくことが重要であり、また患者さんがどのような経緯で検査を行うことになったのか、また自分が行った検査で見えてきたものと他の検査での診断結果が同じであったのか、他の検査にも目を向けることで一段階上の医療を提供することができると感じました。

気管支解剖講座では、今まで曖昧だった気管支の区域や走行に色付けをしたり、気管支体操では体を使って身に付けることができました。気管支走行を理解した後、CT 画像を確認することで、より理解が深まり大変勉強になりました。

今回のセミナーに参加させていただき、他病院の方との繋がりの大切さを感じました。また医療従事者としての常識を再確認することができ、診療放射線技師として患者さんに良質で優しい医療を提供するためにも、今後もさまざまな勉強会に積極的に参加して、日々進歩していく医療に対応できるよう、技術や知識の向上に努め、業務に生かしていきたいです。最後に、今回のセミナーを企画していただいた、田中会長はじめとする埼玉県診療放射線技師会の役員の皆さまに深く感謝申し上げます。

## 平成 28 年度関東甲信越診療放射線技師学術大会開催のお礼

大会長 田中 宏  
 実行委員長 富田 博信

5月14日、15日の2日間、遠方から学術大会へ参加していただき心より感謝申し上げます。会員511人、賛助会員71人、非会員36人、学生45人、一般市民130人、合計793人の参加がありました。また初めての試みである鉄道博物館での懇親会にも209人の参加がありました。

本大会のテーマである「患者のためのチーム医療を目指して」とさせていただき、複数のモダリティーを横断的に組み入れた企画を立てさせていただきました。日本診療放射線技師会、中澤会長による特別講演、池田龍二先生による教育講演は大変に好評でありました。また上尾中央総合病院副院長の大塚一寛先生の市民公開講座では、多くの市民の方々が聴講に訪れ、健康で元気で長生きをすることに力が湧いてきたと数多くの嬉しいお言葉も頂きました。

さらに一人一人が日ごろの研究成果を発表する一般演題では、108の貴重な演題をいただきました。それぞれ素晴らしい発表であり、会場からは活発なディスカッションがあったと聞いております。個々に新しい課題も発見できたと思いますが、明日からのさらなる研鑽の目標ができたことと思います。

今回の大会では、日本診療放射線技師会、1都9県の関東甲信越診療放射線技師会、そして、参加して下さった一人一人の皆さま方、またご協力してくださいました企業の方々に深謝致します。



開会式



田中大会長



富田実行委員長



受付風景



市民公開講座会場



市民公開講座 大塚一寛先生



懇親会各県会長



鉄道博物館



実行委員

## 平成 28 年度関東甲信越診療放射線技師学術大会 表彰者

### 【学生の部】

#### 最優秀賞

- 66、医療被ばく最適化のための入射表面線量簡易計算シートの作成  
群馬県立県民健康科学大学 田子智也

#### 優秀賞

- 28、エッジ法による CT の体軸方向の空間分解能測定に関する考察  
日本医療科学大学 鈴木悠渡
- 70、ROC 解析を用いた障害陰影の検討 - 頭髪陰影について -  
東京電子専門学校 二階堂麻椰
- 84、デジタルマンモグラフィにおける臨床モードとリニアモードの雑音特性の比較  
日本医療科学大学 小松知世

### 【一般の部】

#### 最優秀賞

- 72、前立腺 IMRT における固定具の違いによる体位再現性と固定精度についての検討  
株式会社日立製作所 ひたちなか総合病院 黒沼真由美

#### 優秀賞

- 5、肘関節側面撮影における体表指標の検討  
昭和大学病院 吉成美葉
- 25、統計解析による金属アーチファクト低減ソフトウェアの評価  
埼玉医科大学総合医療センター 白石健吾
- 42、T2 強調画像の画質に与える T2 plus・可変フリップ角 (MPV-kFA) の効果  
埼玉県済生会栗橋病院 北川菜穂
- 62、冠動脈 CT 検査における当院撮影プロトコルの撮影至適心拍数の検討  
埼玉県済生会川口総合病院 豊田奈規

### 【リーディング部門】

#### 胸部

熊谷総合病院 清水 理乃

#### 上部消化管

指扇病院 仙波 亮

#### MMG

熊谷総合病院 亀山 枝里

#### CT

横浜市立大学附属病院 岩城 龍平

#### MRI

埼玉医科大学病院 采澤 大志